

府中町人口ビジョンの概要

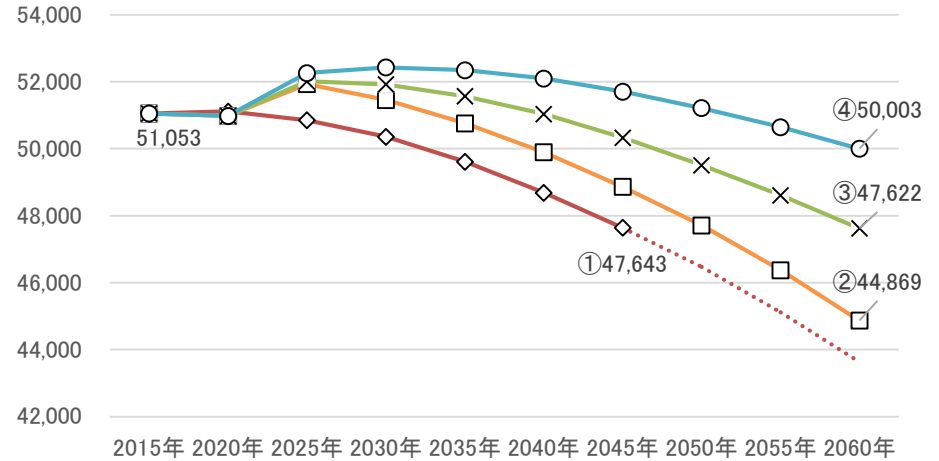
人口の現状分析

- ・このままで推移した場合の人口推計では、**2060年には人口が4万5千人程度まで減少。**
- ・自然増が続いているが、出生数が横ばいの一方、死亡数は増加傾向である。
- ・20代は転入超過である一方、他の年代は転出超過が多くなっている。また、20～30代の広島都市圏内の社会移動は、大きく転入超過である。
- ・アンケートの結果から、**生活利便性や地域防災力などの向上を図りつつ、子育て支援に力を入れていくことで転入の促進・転出の抑制を図る。**

人口の将来展望

- ・「**子育て世代が居住を選択するまち**」を目指すことが人口維持に効果的
- ・全国平均より高い府中町の出生率を踏まえ、**国の長期ビジョンより10年早いペースでの出生率回復を目指す**
(2025年1.84程度、2030年2.07程度、以降安定)
- ・更に予測より**子どもの転出超過数を半減すれば**、2060年にも5万人規模の人口水準の維持が可能

人口（人）



	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
① 平成30年社人研推計	51,053	51,117	50,852	50,359	49,615	48,689	47,643	-	-	-
② 平成30年社人研推計を補正(※1)	51,053	50,979	51,930	51,459	50,760	49,897	48,863	47,713	46,374	44,869
③ 目指すべき出生率回復ベース(※2)	51,053	50,979	52,013	51,924	51,570	51,036	50,329	49,511	48,613	47,622
④ 出生率回復に加え転出超過を抑制(※3)	51,053	50,979	52,264	52,430	52,349	52,101	51,706	51,213	50,649	50,003

※1：2020年の合計特殊出生率は、府中町独自で算出した2018年の数値（1.69）を踏まえ、1.70と仮定した。また、マンション建設による転入増加については、2020年から2021年にかけて竣工するマンション4棟で見込まれる転入者について1,100人程度と仮定し、2025年人口に上乘せた。

※2：国の長期ビジョンに対し、以下のように10年早いペースで出生率が回復すると仮定して算出した。

	現状	2025年	2030年	2040年	2050年
国の長期ビジョン	1.36	—	1.80程度	2.07程度	→安定
府中町	1.70	1.84	2.07	→安定	

※3：0～10歳の子どもについて、5年後までに見込まれる転出超過数を半減させることと仮定し、転出超過数の1/2及びその両親（20～30代男女、両親あたり子ども1.5人で計算）の人数を加算して算出した。